



委員長報告全文は
こちらをご覧ください。

決算特別 委員会 レポート

防災対策や機構集積支援事業などを議論

新型コロナウイルス感染症 対策に関する事業

土砂災害や浸水想定など、法令で定められた項目が記載されており、法令外の地域の細かな危険箇所は記載され

（仮称）度島ふれあい会館整備事業

A 特別定額給付金事業をはじめ41億3,710万円であり、その財源として国からの新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金など、県補助金を合わせ41億1,611万4千円が交付され、一般財源は1,898万1千円（一般財源の比率は0・5%）にとどまつた。本市は、陽性（感染）者が少なかつたことから、対策に要する

現在もコロナ禍で経営が厳しい事業者もあることから、事業者等に寄り添つた支援を考える必要があるのでないか。

委員会の意見

県の事業実施の動向を注視することにより対応が難しかつた。

Q 全世帯に配布されたハザードマップが有効に活用されるよう、地域の具体的な危険箇所を確認できる仕組みづくりが必要である。地域の実情に合わせた運用ができるのか。

A ハザードマップには、洪水、高潮、

近年、毎年のように全国各地で発生する自然災害により、想定外の甚大な被害が発生していることから、市民の防災や避難に関する意識も高まっている。これまで以上に、各支所・出張所や自主防災組織等と連携し、市民の安心・安全のため、市内全体の防災対策に対する行政としての責務を果たすよう強く要請した。



A **Q** 自主防災組織の育成・運営方法を充実させるべきではないか。

自主防災組織の育成・強化については、平戸市全体で防災士を中心とした防災ネットワークを組織し、行政と連携した自主防災組織の育成を図る取り組みを行っている。全国各地で大きな災害が発生していることなどから重点施策として自主防災組織の強化を図りたい。

放課後児童クラブ整備事業

委員会の意見

現在、放課後児童クラブは、平戸北部地区2か所、平戸南部地区1か所、田平地区3か所、生月地区1か所の計7か所で開設されている。一方で、平戸中部地区については、保護者が開設を望んでおり、これまで保護者の代表の方との意見交換や開設に向けた検討を行っているが、設置場所などの課題があり、未だ開設に至っていない現状である。児童の健全育成と安全な地域づくり、公平な行政サービスを提供する意味でも、課題を整理し早急に開設するよう要請した。

機構集積支援事業 委員会の意見

機構集積支援事業は、農地の利用

特に、ため池工事では入札不調等の理由により工期が遅れれば受益者の作付けに直接影響するため、入札不調が生じないよう関係機関へ強く働きかけようとしている。



特に、ため
理由により丁
付けに直接影
生じないよう

特に、ため池工事では入札不調等の理由により工期が遅れれば受益者の作付けに直接影響するため、入札不調が生じないよう関係機関へ強く働きかけようとしている。

農地費における翌年度繰越額について

Q 農地費における翌年度繰越額が多いのはどのような理由か。

A 「農村地域防災減災事業県工事負担金」や「農業競争力強化基盤整備事業」の繰越金が主なものであり、県工事の入札不調や年度末に追加補正があつたことが要因である。入札不調に關しては、設計単価や歩掛りが原因とならないよう改善策について、九州農政局に要望している。

委員会の意見



10

A small, rectangular image showing a close-up of a green, leafy plant, possibly a seedling or a small sprout, with some small flowers or buds visible.

A close-up photograph of several green asparagus spears. The spears are straight and have a vibrant green color. They are positioned vertically, with some overlapping each other. The background is a light-colored, textured surface, possibly a bamboo mat or a similar material.

10

5
とかいせん